



ワンコイン
ブック

白力

じ

り
き

四
衢
亮



東本願寺出版

自^じ

力^{りき}

四^{よつ}

衢^{つじ}

亮^{あきら}

友引のこと

お葬式の日程の打ち合わせをしていると、時折「その日は友引ともびきなのですが、お葬式をしてもいいのですか」と尋ねられることがあります。友引の日は、お葬式をしないとよく言われるので、気にされたのでしよう。

また、結婚式が大安たいあんに集中するのも、その日が吉日でめでたい日とされるため、結婚される二人の門出にあたって、少しでも幸せになってほしいと思い選ばれるの

でしょう。逆に凶の日とされる仏滅ぶつめつは結婚式を避けよう
とされ、結婚式場は予約があまり入らないようです。

このように、現代でも私たちの生活のいろんな場面で
顔を出し、気にされる方も多いこの「暦しよみ」とはどういう
ものなのでしょうか。

六曜ろくよう・六輝ろつきと呼ばれる先勝せんしょう・友引ともひき・先負せんぶ・仏滅ぶつめつ・大

安しやっこう・赤口しやくこうの起源は、中国唐代の「六壬時課りくじんじか」という時刻

占いに由来し、日本には室町時代に伝わったものです。

そして江戸時代に日の吉凶に転用され、江戸時代末期に

は現行の名称・順序が定着し、明治の初めには民間の暦に載せられるようになり普及したのです。

この六曜は、時刻占いから来ていますから、先勝は午前が吉だが午後は凶。友引は昼が凶で朝晩は吉などとそれぞれ決められています。また、仏滅は古くは「物滅」と書き「物がなくなる」、友引は「共引」と書き「共に引き合い勝負なし」というように勝負事の占いにも使われていたようです。ですから友引とは、友を引くというような意味で使われているわけではないのです。